

(公社) 大阪自然環境保全協会 事務局

TEL06-6242-8720 FAX06-6881-8103 email oka@nature.or.jp

ヒヤリハット 報告書

行事名	生き生き体験教室 木端細工		主催グループ名 対外自然協力隊	
被災者	参加者区分 参加者 1名	年齢区分 小学生 4年 10歳台	性別 男・女	
ヒヤリハット発生状況	発生日時 平成29年1月6日(金) 午前11時頃			
	発生場所 弁天小学校 教室 (児童43名参加)			
	事故状況(何をして、どのように、どうなった) 生き生き体験教室で木端細工をしているときに、スタッフがグルーガン(ホットボンド)で作品をくっつけようとした時に、説明しようとしたのか?手をだしてきてグルーガンに触れ軽い火傷を負った。			
事故に至らずに済んだのは?	対応: すぐに冷水(水道)で冷やした。 結果: 大したことなく、作業を続行。 その後担当者に照会したが、大丈夫だったとの報告を得た。			
どんなことになりそうだったのか?	※当てはまる項目に全て○をつけてください 墜落・転落 転倒 激突 飛来物にぶつかる 切傷・擦り傷 有害動物と接触 有害植物と接触 虫刺され 骨折 捻挫 交通事故 動力機器に巻き込まれ・挟まれ 火傷 熱中症 落雷 その他(軽い火傷(水膨れ))			
推定原因と再発防止策は?	分かる範囲で記入ください 原因は、事前のグルーガン(ホットボンド)の説明不足であった。 ①1教室に児童・スタッフを合わせ50名以上と手狭。 ②スタッフの作業台が確保できなかった。 穴あけ・のこぎり・グルーガン(ホットボンド)等の作業 ③作業が一時に集中し、余裕ある対応がむづかしかった など、条件も重なったことで起こった。 再発防止策は、すぐにくっつく威力に、興味を示し触ってみたいくなる子供心を十分理解し、もっと注意するべきだった。			
報告日 平成29年2月2日	報告者と連絡先電話及びメール 対外自然協力隊 栗山 純彦 su_kurikuri@yahoo.co.jp	総務部受付No. 021	総務部会検討日	

※責任者は活動終了時のミーティングで参加者にヒヤリハットを聞き取り、分かる範囲を記録してください。

※このヒヤリハット報告書は当該月末までに保全協会事務局に報告をお願いします。

※総務部会はヒヤリハット状況を分析し、各グループにヒヤリハット情報として連絡することにします。

※赤字項目は総務部会での記入項目です。